



2011年9月

報道関係各位

～ご取材のご案内～

ワークショップ「情報セキュリティー」開催
イタリアと東京理科大学の相互協力で構築
数学的原理で解けない新しい暗号技術のデモを実施

■日 時：平成23年9月15日（木）10：00～17：00

■会 場：東京理科大学 神楽坂キャンパス 森戸記念館1階 第2フォーラム

2011年はイタリアが統一されて150周年の節目の年に当たり、日本でも在日イタリア大使館主催の、
＜日本におけるイタリア＞というイベントが各地で催されています。

このたび、その一環として来る9月15日（木）、東京理科大学 神楽坂キャンパスにて本学 総合研究機
構量子 生命情報研究部門と、ローマII大学（ローマ・トルヴェルガータ大学）ヴォルテラ・センターと
共催でワークショップ「情報セキュリティー」を開催いたします。

情報社会としての現代は、個人においても、組織においても情報保護への関与が一層求められていま
す。暗号技術は、外交、軍隊、そして治安部隊等の特別領域のものでしたが、今日においては広範に普
及し、プライベートな領域までその影響は及んでいます。

今回のワークショップでは、世界中で問題になっている情報セキュリティーの現状、そして情報の暗
号化などの新しい技術と、それに係わる産学連携について議論するとともに、新しいアルゴリズム暗号
技術の発見とそのソフトウェアの応用を目指すものです。本ワークショップを機会に、日伊相互協力関
係を一層促進し、将来的には『日伊情報セキュリティー共同ラボ（仮称）』を東京理科大学量子生命情報
研究センター支部として開設する予定です。

また、当日は本学が開発した最も安全で速い新暗号方式（CAB方式）についてのご説明、デモソフト
ウェアの展示を行います。本方式は(1)非可換数学、(2)非対象暗号がキーポイントで数学的原理として解
けないことが証明されています。このCAB方式は、

1. **安全**：従来の暗号方式と比べて数万倍の安全性。数十万ビット以上の鍵を実用化
2. **速い**：聖書1冊すべての暗号化に数秒
3. **強い**：従来の暗号がすべて解けたとしても、解くことはできない。

従来の因数分解、D-Hは離散対数問題が安全性のキーポイントですが、仮にD-H型を1秒で解けても2
の100乗秒以上の時間がかかる。などの大きな特徴があげられます。

今後、この新しい暗号方式を用いて、HDD全体の暗号化、自動車のイモビライザー、WiFiの暗号強
化、クラウドでのセキュリティー強化、電子会議システムの暗号化、住宅のリアルタイム監視の暗号化、
携帯端末のセキュリティー強化、新しい製品化等の可能性が考えられます。

皆様、ご多忙中とは存じますが本ワークショップにご出席・ご取材いただければ幸いです。お席の都
合上、予め、別紙出席用紙をお送り頂ければ幸甚です。なお、ワークショップの午後にラウンドテー
ブルを設け、皆様との意見交換を場となればと考えております。

～ワークショップ「情報セキュリティー」実施概要～

■名 称：情報セキュリティー シンポジウム

■日 時：2011年9月15日（木） 10：00～17：00（途中休憩あり）

17：00～18：00 ラウンドテーブル

■会 場：東京理科大学 神楽坂キャンパス 森戸記念館1階 第2フォーラム
新宿区神楽坂4-2-2（下記地図参照）

*アクセス：JR 総武線、地下鉄有楽町線、東西線、南北線「飯田橋駅」下車徒歩8～10分
大江戸線「飯田橋駅」下車 徒歩15分

■プログラム：次頁をご参照下さい

■出席者：東京理科大学理事長 塚本 恒世

東京理科大学学長 藤嶋 昭

東京理科大学工学部情報科学科 教授 大矢 雅則

駐日イタリア大使 V.Petrone

イタリア下院議員,Vice Chairman of COPIT M.Calearo Ciman

イタリア Calearo 社 CEO V.Rotondi

ローマ II 大学 ヴォルテラ・センター教授 L.Accardi …他

会場案内図



～本件に関するお問い合わせは先～
東京理科大学 科学技術交流センター（承認 TLO）
企画管理部門 担当：近藤
Tel: 03-5228-8090

●午前の部(司会 L.Accardi)

1.オープニング挨拶(1) 【10:00 – 10:30】

①Hon. Massimo Calearo Ciman イタリア下院議員

②東京理科大学 藤嶋 昭 学長

注) Calearo 議員は経営者団体の代表の一人として 2008 年に下院に初当選、現下院議員。年令 55 才、北東部の Vicenza 出身。会社ゲストの Calearo 社の会長 President。

*Hon.は (下院) 議員に付ける敬称

http://en.wikipedia.org/wiki/Massimo_Calearo

http://www.calearo.com/a_71_EN_169_1.html

オープニング挨拶(2) 【10:30-11:00】

③Vincenzo Petrone 駐日イタリア大使

④V.Rotondi イタリア Calearo 社 CEO

2.イントロダクション・コーヒブレイク・デモ 【11:00 – 12:30】

①デモ+コーヒブレイク 【11:00-11:45】

暗号化技術の実装済みのパソコンなどを用いたデモでご紹介
ーラウンジにてコーヒブレイクー

②ワークショップの概要と研究背景など総括 大矢雅則 【11:45-12:00】

③新暗号技術の発表 L.Accardi ローマ II 大学 【12:00-12:30】

<< 休憩 >> 【12:30 – 14:00】

●午後の部

3.プレゼン(1) 【14:00 – 17:00】

①D.Zamberlan Centre Research Calearo (CeRCa 部長) 【14:00-14:30】

②縫田光司 産総研 【14:30-15:00】

③渡邊 均 工学部 2 部経営工学科 (元 NTT) 【15:00-15:30】

④理科大 TLO 【15:30-16:00】

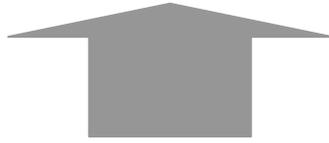
<<休憩>> 【16:00-16:30】

⑤Regori, Centro Vito Volterra, Universita di Roma, 【16:30-17:00】

4. ラウンド・テーブル 【17:00 – 18:00】

5. 閉会挨拶

* 終了後、懇親会



東京理科大学行

<ご出欠確認用紙>

FAX 番号 0120-653-545 (フリーダイヤル)

もしくは 03-3571-5382

諸準備の都合上、大変お手数ではございますが、下記要項をご記入のうえ、
9月14日(水)までにFAXにてご返信くださいますようお願いいたします。

東京理科大学ワークショップ「情報セキュリティー」

【日時】2011年9月15日(水) 10:00～

ご出席 ご欠席

(にチェックをお願いいたします)

貴社名/貴紙・誌名		
ご部署名		
ご出席者名	(計 名様)	
ご来場予定時間	午前の部	午後の部
ご連絡先	TEL.	FAX.
通信欄	ご質問・ご要望がございましたらご記入下さい	